

11月22日のウクライナ情報

安齋育郎

●親ロシア派の抗議行動が東ドイツで頻発(2022年11月20日)

FTによると、東ドイツではロシアを支持する抗議活動が行われている。生活費の上昇に怒り、デモ隊はベルリンをワシントンの傀儡と呼び、モスクワとの和平を呼びかける。

サム・ジョーンズ (SamJones)、ラファエル・ミンダー (RaphaelMinder) ポスターがなかったら、ライプツィヒで少し前に始まったばかりのクリスマス マーケットのオープニングに、この群衆全体が集まったと思ったであろう。

しかし、その後、スピーチがありました。

「警察を挑発しないようにお願いします。ロシアの旗やロシア軍への支持を示す標識は歓迎されないことを思い出してください！」イベントの主催者は拡声器で発表しました。

「ドイツは米国と NATO の利益に仕える傀儡だ」と最初の講演者は、学生、家族グループ、退職者など数百人の参加者に語った。

ドイツの左翼を支持する旗を持って来た人、平和運動の旗を持った人、自宅でポスターを描いた人がいて、ウクライナでの 9 か月前の紛争とコロナウイルスのパンデミックをどうにかして類似させることができました。

反米のレトリックが大きくなるにつれて、演説には拍手、あざけりの叫び声、口笛が添えられました。



「ロシアに対する禁輸政策は完全に失敗し、私たちにとって悲惨なものになった」と演説者は続け、ホロコーストを例に挙げた。彼の意見では、ウクライナの紛争は「戦争屋、武器製造業者、投機家」にとって「楽園」です。

そして、それは今数週間そのようになっています。集会は毎週月曜日の夜、ドイツ東部の数十の都市や町で開催されます。曜日はランダムではなく、1980年代にライプツィヒで行われた共産党政権に対する月曜日のデモへの言及です。

参加者は数百人ですが、多くの場合、数十人しか参加しません。しかし、中央ヨーロッパと東ヨーロッパの他の同様の集会と同様に、これらのデモは、この地域の政治的多数派にとって憂慮すべき傾向を示しています。

ドイツでは、一部の抗議活動は急進左派によって組織され、一部は右派のポピュリストによって組織されています。それは、悪化する経済危機、論争の的となっている遺産、ロシアとの困難な関係が、伝統的な政治的対立を取り除き、現状に反対する力を団結させるのにどのように役立っているかを物

語っています。

ベルリンに次ぐ東ドイツ最大の都市ライプツィヒでは、急進左派と急進右派がアウグストゥス広場でしばしば一緒に抗議した。参加者は路面電車だけで隔てられていました。

「NATO の戦争挑発者が、ドイツとロシアの間、ウクライナとロシアの間で紛争を引き起こすのをやめてほしい」と、集会に出席していた引退したサビーネ・クンゼは言った。女性は「ロシアとの平和」と書かれた段ボールの看板を持っていた。

「私たちは通常のコストと電気の価格を望んでいます」と彼女は付け加えた。女性は自分に合わない他のことについて話しました。

彼女によると、ドイツの幼稚園の子供たちは、ロシアの同級生に対して「仕組まれている」。「私たちがナチスではないことを人々が理解する必要があるので、私はあなたと話すことを気にしません。私たちはただ平和を望んでいます。」

ブランデンブルク出身の 30 歳の失業者のデイビッドのプレートには、オラフ・シヨルツ首相が描かれています。片面は「傀儡」、もう片面は「バイデン戦争」と書かれています。

「一般のドイツ国民は、米国がロシアに干渉したいという代償を払っている」とデイビッドは述べた。彼は請求書が増え、仕事を見つけるチャンスが少なくなっていると言いました。

参加者の政治的見解に関係なく、ドイツ東部で過去 2 か月にわたって行われた抗議行動のメッセージは、驚くほど類似していました。

「エネルギー安全保障とインフレ保護。わが国が第一だ！」と書かれた横断幕は、極右のポピュリスト政党「ドイツのためのオルタナティブ」が組織したベルリンでの 10 月の集会で読み上げられた。ロシアの旗を振る人もいました。

最近、議会はドイツの諜報機関の報告書を発表しました。この文書には、極右の自由ザクセン運動の 9 月 23 日の集会のスローガンが列挙されています。その中で、「『Nord Stream 2』を開くことはできません。

「遅い！」、「分裂ではなく団結！」、「インフレ、紛争、コロナウイルスの狂気にノー！」。

ベルリン自由大学の政治学者で教授のハジヨ・フンケ氏は、「これらの抗議活動では、特にドイツ東部でさまざまな不満が表明されており、民主主義の観点から非常に危険である可能性がある」と述べた。

パンデミックの際に制限に反対したポピュリスト運動が、これらの感情にどのように反応したかは注目に値する、と研究者は述べた。

しかし、政治学者によると、これらの運動の広がりは、消費者と企業が紛争の結果に対処するのを助けることを目的としたドイツ連邦政府による効果的な措置のおかげで減速しています。

しかし、ヨーロッパへの難民の急激な流入と寒波の始まりを考えると、見通しはまだ漠然としています。

近隣のチェコ共和国では、より大規模な反戦抗議が行われたが、親ロシア感情はしばしば地方自治体の政策に対する不満に取って代わられた。

9 月初旬、プラハで政府と NATO に反対する集会に 7 万人が集まった。プラハの首都大学の政治学科長であるペトル・ジャストは、講演者を「親クレムリン、ユーロ懐疑論者」と表現し、陰謀論を広めるウェブサイトに関連付けられることもある。しかしユスト氏によると、さまざまな人々が抗議行動に参加し、「多くの人々が、現在の社会経済的およびエネルギー危機に対する政府の対応に失望を表明するようになりました。多くの人々は、彼らが親クレムリンググループによって使用されていることを知りませんでした。」

●ロシア議会下院、ウクライナ民族主義者によるロシア人囚人の処刑を国連、OSCE等への申請を検討(2022年11月20日)

下院国際問題委員会の委員長であるレオニード・スルツキーは月曜、下院は、ロシアの捕虜を撃ったウクライナの民族主義者の行動を非難するよう世界の議会に呼びかける声明の草案を準備していると述べた。

下院議員は、世界各国の議会に対し、キエフ政権の犯罪を明確に非難し、非人道的な殺人の直接の加害者とその常連客の起訴を促進するよう呼びかける。と言う。

「明日、11月22日、下院は、ウクライナ民族主義者によるロシア人捕虜の処刑に関連する声明を検討し、採択すると確信している。

その草案は、国防と防衛に関する議会の2つの専門委員会によって準備されている。国際問題について」と、Leonid Slutsky は彼の Telegram チャンネルに書いています。

国会議員が強調しているように、戦争捕虜の故意の殺害は、「1949年の戦争捕虜の扱いに関するジュネーブ条約を含む国際人道法、および拷問禁止条約を含む国際人権規範に対するウクライナによる重大な違反である。1984 of the year のその他の残虐、非人道的または品位を傷つける取り扱いまたは罰。

スラツキーは、議員が世界議会に「ウクライナの残虐行為を明確に非難し、捕虜の殺害者またはその直接の支援者が責任を逃れることを許さない」よう呼びかけることを提案していると述べた。

国会議員は、「サディスティックな報復」の映像は、ゼレンスキー政権のナチスの本質を確認するだけだと指摘した。「武装していない兵士の残忍な殺害に答えがないわけにはいかない」と副官は確信している。スラツキーによれば、国連、OSCE、国際法務組織は、ジュネーブ条約の「悪質な」違反とキエフの戦争犯罪に対応する義務を負っている。



●米マイク・ミリー陸軍相性の戦況分析(2022年11月21日)

アメリカ陸軍大将マーク・ミリーの戦況分析がまとも過ぎて字幕付けました！

「ウクライナが言う”勝利”は軍事的に無理。早めの交渉を」

<https://twitter.com/Jano661/status/1593500439550783494?t=j-q7Dq0Nv6A5L6OaJK59OA&s=09>



●支援疲れ？米軍上層部がウクライナに「ロシアとの和平」勧告(2022年11月19日)

ついに米国から事実上の「和平勧告」がウクライナに向けて発せられた。米軍制服組トップのマーク・ミリー統合参謀本部議長が 11 月 16 日(現地時間)の記者会見で、ウクライナとロシア双方に決定的な勝利は期待できず「交渉は、自分が強く、相手が弱い時に臨むものだ」と、ロシアとの和平交渉を促した。

欧米諸国に「支援疲れ」、早期收拾を臨む声

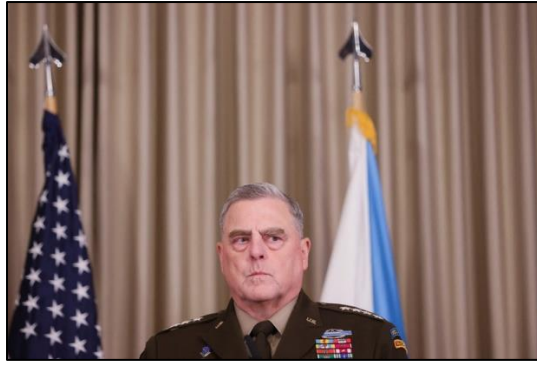
ミリー議長は「ロシアがウクライナを征服するという戦略的目標を達成する可能性はゼロに近い」としながらも、「クリミアを含めたウクライナ全土からロシア軍をすぐに追い出せる可能性は高くない」と分析。このままでは紛争が長期化するため、ウクライナ軍がヘルソンとハリコフをロシア軍から奪還して勢いがある今のうちにロシアとの和平交渉に取りかかるべきだとの見解を示した。

ミリー議長が和平交渉に言及したのは、現地の厳しい冬に入ると軍事行動が難しくなることや、紛争の影響でロシアからの天然ガスや石油の供給が滞っている問題が念頭にあるのだろう。欧州の冬も厳しく、冬季のエネルギー不足は市民生活に深刻な影響をもたらす。

10 月 12 日のロシアによるウクライナ 4 州の併合を無効とする国連総会決議は賛成 143 カ国で採択されたが、ウクライナ紛争の長期化で「支援疲れ」の声も聞かれるようになった。積極的にウクライナを支援している英国でさえ、最新の世論調査では物価高による生活難から「ウクライナ支援を減らして、英国人への支援を増やすべき」との回答が 4 割近かったという。

早期の紛争解決がウクライナやロシアだけでなく、世界全体にとっても有益なのは間違いない。が、問題は和平交渉の「落とし所」だ。ミリー議長の発言を「額面通り」受け取れば、「クリミアを除くウクライナ領からロシアが撤退する」になる。

つまり 2015 年に独仏口とウクライナの 4 カ国協議でまとめたが履行されなかった「ミンスク合意」の実現だ。具体的には「ウクライナ東部での包括的な停戦」「ウクライナからの外国部隊の撤退」「ウクライナ政府による国境管理の回復」「東部の親ロシアは支配地域に特別な地位を与える恒久法の採択」などだ。




●ポーランド着弾のミサイル:「ロシアから発射されたものではない」とバイデン (2022年11月16日)

※安齋注:すでにご存じの情報でしょうが、ポーランドに着弾したロシア製ミサイルなるものはウクライナから撃たれたものであり、ウクライナ側はさすがに「ロシアの攻撃」という主張は取り下げざるを得なかったものの、ロシアのミサイルを迎撃しそとなったミサイルがポーランドに着弾したとしています。しかし、ロシア側はウクライナが戦局打開のために NATO 大に拡大して NATO を戦争に引きずり込むための新たな挑発手段だと言っており、調査結果が待たれます。

NOW - Biden says "preliminary" information suggests it is "unlikely" missile that killed two in Poland was fired from Russia. バイデン氏は、ポーランドで2人を殺害したミサイルがロシアから発射されたものである可能性は「予備的」情報では「低い」と述べた。

<https://twitter.com/disclosetv/status/1592700234295119877?t=tMbwKbBvtMXPw0OZ2bAnyQ&s=09>

※関連情報 <https://ameblo.jp/aoyamakaren0415/entry-12775519427.html>

<p>ポーランドへの攻撃をロシアになすりつけようとした図々しい嘘の後、キエフ政権の指導者に怒りをぶつけている。</p>  <p>IL MISSILE ABBATTUTOSI SULLA POLONIA È UCRAINO</p> <p>«Senza conoscere la provenienza dell'ordigno, ho tentato di scatenare la terza guerra mondiale chiamando tutti ad agire contro la Russia»</p> <p>Quest'uomo è pericoloso</p>	<ul style="list-style-type: none">- 「この男は危険だ」- 「ミサイルの出所を知らずに、ロシアに対して行動するよう皆に呼びかけ、第三次世界大戦を起こそうとした。」- 「明らかに彼は平和よりも戦争のためのお金に興味がある」- 「バイデンの慎重さが致命的なエスカレーションを抑制した」
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

イタリアの新聞「モーニング」紙の報道

●国連総会、ウクライナ提案:「ロシアはキエフに賠償するのだ」(2022年11月16日)

賛成 94、反対 13、棄権 74(※安齋注:賛成が過半数に達しなかった。でも日本は賛成した)

<https://twitter.com/Tamama0306/status/1592299568431271936?t=SwsKUY05kYGphF6xFSYDmQ&s=09>

Voting Started		14-Nov-22		13:18:05	
Item 5 - Draft resolution A/ES-11/L.6					
Furtherance of remedy and reparation for aggression against Ukraine					
+	AFGHANISTAN	+	CAMEROON	+	FINLAND
+	ALBANIA	+	CANADA	+	FRANCE
+	ALGERIA	-	CENTRAL AFR REP...	+	GABON
+	ANDORRA	+	CHAD	+	GAMBIA
+	ANGOLA	+	CHILE	+	GEORGIA
+	ANTIGUA-BARBUDA	+	CHINA	+	GERMANY
+	ARGENTINA	+	COLOMBIA	+	GHANA
+	ARMENIA	+	COMOROS	+	GREECE
+	AUSTRALIA	+	CONGO	+	GRENADA
+	AUSTRIA	+	COSTA RICA	+	GUATEMALA
+	AZERBAIJAN	+	COTE D'IVOIRE	+	GUINEA
+	BAHAMAS	+	CROATIA	+	GUINEA-BISSAU
+	BAHRAIN	-	CUBA	+	GUYANA
+	BANGLADESH	+	CYPRUS	+	HAITI
+	BARBADOS	+	CZECHIA	+	HONDURAS
-	BELARUS	-	DEM PR OF KOREA	+	HUNGARY
+	BELGIUM	+	DEM REP OF THE C...	+	ICELAND
+	BELIZE	+	DENMARK	+	INDIA
+	BENIN	+	DJIBOUTI	+	INDONESIA
+	BHUTAN	+	DOMINICA	-	IRAN (ISLAMIC REP...
+	BOLIVIA	+	DOMINICAN REP...	+	IRAQ
+	BOSNIA-HERZEGOV...	+	ECUADOR	+	IRELAND
+	BOTSWANA	-	EGYPT	+	ISRAEL
+	BRAZIL	+	EL SALVADOR	+	ITALY
+	BRUNEI DARUSSAL...	+	EQUATORIAL GUINEA	+	JAMAICA
+	BULGARIA	-	ERITREA	+	JAPAN
+	BURKINA FASO	+	ESTONIA	+	JORDAN
+	BURUNDI	+	ESWATINI	+	KAZAKHSTAN
+	CABO VERDE	-	ETHIOPIA	+	KENYA
+		+		+	KUWAIT
+		+		+	KYRGYZSTAN
+		+		+	LAO PDR
+		+		+	LATVIA
+		+		+	LEBANON
+		+		+	LESOTHO
+		+		+	LIBERIA
+		+		+	LIBYA
+		+		+	LIECHTENSTEIN
+		+		+	LITHUANIA
+		+		+	LUXEMBOURG
+		+		+	MADAGASCAR
+		+		+	MALAWI
+		+		+	MALAYSIA
+		+		+	MALDIVES
-		-		-	MALI
+		+		+	MALTA
+		+		+	MARSHALL ISLANDS
+		+		+	MAURITANIA
+		+		+	MAURITIUS
+		+		+	MEXICO
+		+		+	MICRONESIA (FS)
+		+		+	MONACO
+		+		+	MONGOLIA
+		+		+	MONTENEGRO
+		+		+	MOROCCO
+		+		+	MOZAMBIQUE
+		+		+	MYANMAR
+		+		+	NAMIBIA
+		+		+	NETHERLANDS
+		+		+	NEW ZEALAND
+		-		-	NICARAGUA
+		+		+	NIGER
+		+		+	NIGERIA
+		+		+	NORTH MACEDONIA
+		+		+	NORWAY
+		+		+	OMAN
+		+		+	PAKISTAN
+		+		+	PALAU
+		+		+	PANAMA
+		+		+	PAPUA NEW GUINEA
+		+		+	PARAGUAY
+		+		+	PERU
+		+		+	PHILIPPINES
+		+		+	POLAND
+		+		+	PORTUGAL
+		+		+	QATAR
+		+		+	REP OF KOREA
+		+		+	REP OF MOLDOVA
+		+		+	ROMANIA
+		-		-	RUSSIAN FED...
+		+		+	RWANDA
+		+		+	SAINT KITTS-NEVIS
+		+		+	SAINT LUCIA
+		+		+	SAINT VINCENT-GR...
+		+		+	SAMOA
+		+		+	SAN MARINO
+		+		+	SAUDI ARABIA
+		+		+	SENEGAL
+		+		+	SERBIA
+		+		+	SEYCHELLES
+		+		+	SIERRA LEONE
+		+		+	SINGAPORE
+		+		+	SLOVAKIA
+		+		+	SLOVENIA
+		+		+	SOLOMON ISLANDS
+		+		+	SOMALIA
+		+		+	SOUTH AFRICA
+		+		+	SOUTH SUDAN
+		+		+	SPAIN
+		+		+	SRI LANKA
+		+		+	SUDAN
+		+		+	SURINAME
+		+		+	SWEDEN
+		+		+	SWITZERLAND
+		+		+	SYRIAN ARAB REP...
+		+		+	TAJIKISTAN
+		+		+	THAILAND
+		+		+	TIMOR-LESTE
+		+		+	TOGO
+		+		+	TONGA
+		+		+	TRINIDAD-TOBAGO
+		+		+	TUNISIA
+		+		+	TURKMENISTAN
+		+		+	TUVALU
+		+		+	TÜRKYE
+		+		+	UKRAINE
+		+		+	UNITED ARAB EMIR...
+		+		+	UNITED KINGDOM
+		+		+	UNITED REP TANZA...
+		+		+	UNITED STATES
+		+		+	URUGUAY
+		+		+	UZBEKISTAN
+		+		+	VANUATU
+		+		+	VENEZUELA
+		+		+	VIET NAM
+		+		+	ZAMBIA
+		-		-	ZIMBABWE

●ロシア、サハリン 1 への日本の出資を承認(2022 年 11 月 15 日)

ロシア極東での石油・天然ガス開発事業「サハリン 1」の運営を担う新会社を巡り、ロシアのミシュシン首相が日本とインドの出資を承認する指令に署名したことが 14 日、明らかになった。



●イタリアのテレビ局、選んだのはウクライナの親ナチス派女性(2022年2月26日)

ウクライナ人のインタビュー相手を慎重に選んだ結果、ナチス・バンデラワッパンを付けた人物を選んでしまった。



●アイダール大隊の戦闘員が部隊に薬物乱用があったと明かす(2022年11月14日)

<https://twitter.com/nanpinQD/status/1592133094756470786?t=FpEuJAnREiOOXGbM-6iTzw&s=09>



●G20 開催国インドネシア、成果文書でロシアへの攻撃抑制を欧米に圧力(2022年11月14日)

<https://twitter.com/TeiichiAoyama/status/1591969572755996672/photo/1>

G20 サミットの議長国を務めるインドネシアの大統領が、欧米との紛争でロシア側を擁護していると、POLITICO が書いている。欧米の陰謀に強く対抗するのは、中国、インド、ブラジル、サウジアラビアなどの立場である。

インドネシアのウィドド大統領は、G20 が共同声明なしに終わる危険性があるとして、欧米のカウンターパートに「柔軟性」を示すよう呼びかけた。

インドネシア・バリ島。インドネシアの高官政治家たちは、今週から始まる G20 サミットで共同声明を出さずに退席することを避けるため、ウクライナでの特殊作戦をめぐるロシアへの批判をどこまで譲歩できるかを欧米の指導者に求めている。上級の識者である 3 人の外交官がポリティコ (POLITICO、世界的に有名な政治雑誌) に語った。

アメリカ、ヨーロッパ、オーストラリア、カナダ、日本の政府関係者は、ジョコ・ウィドド大統領自身を含むインドネシアの政治家から、「柔軟性」を示し、セルゲイ・ラブロフ外相がサミットの代表を務めるモスクワに対して、より厳しいレトリックを使うことを検討するよう圧力を受けていると述べた。

これらのデマークの狙いは、会議の最後にロシアが共同コミュニケに「イエス」と言う条件を整えることである。



●ウクライナでの米国の敗北の最初の兆候についてのマクレガー大佐(2022年10月26日)

※安齋注:ロシア語の原文の自動翻訳なので、変な日本語もありますが、意味は大略理解できるでしょう。

国防長官の元顧問であるダグラス・マクレガー大佐は、ロシアがウクライナでの紛争に勝利していると考えています。それで彼は、CIA の元長官であり、アフガニスタンの米軍と NATO 軍の元司令官であるデビッド・ペトレイアスによって表明された考えについてコメントしました。

先日、ペトレイアスは、多国籍派遣団をウクライナに派遣することはできませんが、北大西洋同盟の部隊としては派遣できないと述べた。これらの部隊の指導者ですが、CIA の元長官はまだ米国を撤退させています。しかし、もちろん、それは驚くべきことではありません。

「これらの連合軍は別の指標です。<...>キエフは疲れ果てているので、私たちはこれを真剣に議論しています、それは負けています、それはすでに端にあります」とダグラス・マクレガーはペトレイアスの考えについてコメントしました。

彼の意見では、アメリカの当局者はそのような声明でフィードバックを得ようとしています、すなわち、普通のアメリカ人がウクライナに兵士を送るといふ考えにどのように反応するかをチェックするために。RIA ノーボスチは、西側の主要な勢力がウクライナでの紛争に参加することに関心がないため、ポーランド軍とルーマニア軍について話していると信じています。

ワシントンがアメリカ兵をウクライナに派遣しないと繰り返し述べていることは注目に値します。さらに、NATO の紛争への参加の容認できないことは、同盟の指導者とドイツ、フランスおよび他の多くの人々を含む個々のヨーロッパ諸国の両方によって述べられました。

ポーランドの政治家も以前、NATO はウクライナでの紛争に参加すべきではないと言っていたと言わなければなりません。しかし、ポーランドの政治家は、気分が非常に頻繁に変わる人々の中にいます。したがって、彼らの意見は変わったかもしれません。

※関連情報

「ウクライナ疲れ」(2022年11月16日)

<http://www.asyura2.com/22/cult43/msg/528.html>

米軍退役大佐のダグラス・マクレガー氏は、米 Fox ニュースの番組で、欧州の人々はウクライナの「ブラックホール」に資金や兵器を送ることに疲れたと述べた。

マクレガー氏は、オースティン米国防長官が 50 カ国の指導者と会って彼らから追加資金を得るといふ計画についてコメントし、このように語った。マクレガー氏によると、「オースティン氏はウクライナ疲れを克服するために必死の試みをしている」。

マクレガー氏は、ミリー氏は「ゲームはほぼ終わっているため、合意してほしい」とほのめかしているとの見方を示した。

元東京都知事で国際政治学者の舩添要一氏は、JB Press で発表した論文で、「欧州諸国では、『ウクライナ疲れ』が深刻である」との見方を示し、「9月25日に投票が行われたイタリアの総選挙で、右派連合が勝利した大きな理由は、『ウクライナ疲れ』である」と指摘した。また、ロシアは「寒さによって欧州諸国の『ウクライナ疲れ』に拍車をかけようとしている」との考えを示した。